

福岡市グリーン水素活用推進協議会へ加入

ー水素ステーション関連事業への参入ー

当社は、福岡市が推進している、福岡市水素ステーション（以下「水素ステーション」）の機能強化を図るとともに、水素普及に向けた活動を共同で実施することを目的とした、有限責任事業組合 福岡市グリーン水素活用推進協議会（以下、「協議会」）に加入しました。

協議会の加入企業は当社を含め、西部ガス(株)、(株)正興電機製作所、豊田通商(株)、三菱化工機(株)の5社です。

当社が協議会に加入した目的は、水素事業に参入し、福岡市をはじめ、協議会の加入企業の皆さま及び水素研究に知見のある、九州大学との連携を図りながら、水素社会の実現に取り組むためです。

福岡市は2015年から、市民の生活排水を処理する過程で発生するバイオガスからメタンを取り出し、化学反応させて水素をつくり、燃料電池自動車（FCV）へ供給する、水素ステーションの運営を産学官で取り組んでいます。

この度、カーボンニュートラルの実現に向けた水素普及促進を目指して、設備を国から福岡市に移管し、9月26日から協議会にて水素ステーションの運営を再開しています。

これに先立ち、8月29日に福岡市役所で共同記者会見が開催され、会見には福岡市の高島市長をはじめ、加入企業及び九州大学の代表者が出席し、当社からは佐々木社長が出席しました。

当社は協議会での活動を通じ、脱炭素化に資する水素社会の実現に貢献していきます。



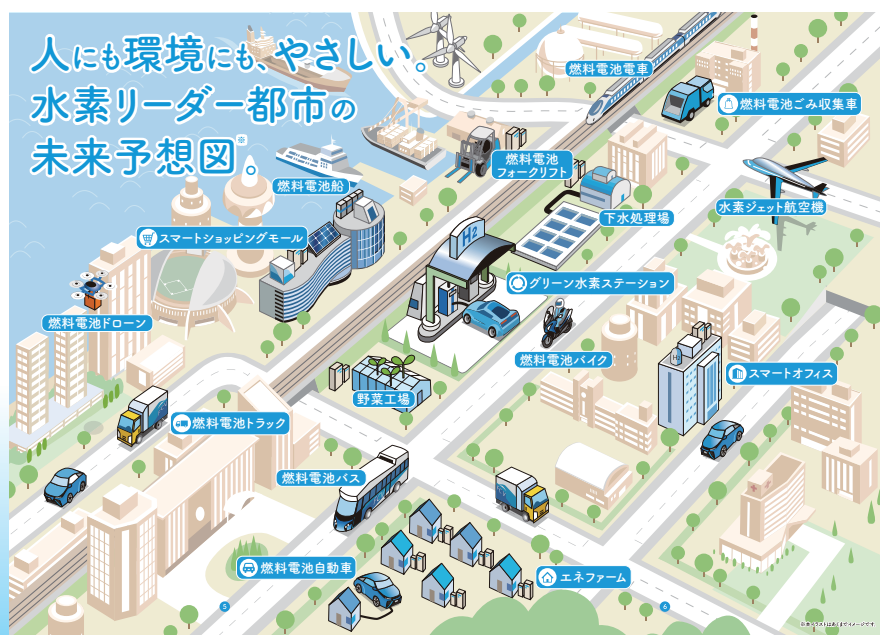
▲福岡市中央区荒津にある水素ステーション



▲福岡市役所での共同記者会見（中央が高島市長、左から1人目が佐々木社長）



※写真とイラスト等は福岡市及び九州大学並びに協議会に加入する企業から掲載許可をいただいています。



▲水素リーダー都市の未来予想図